

希望による研修

講座番号	305	講座名	小学校国語の授業づくり	定員	30
期日・会場	8月23日(水) 9:25～16:25 県教育センター			指標	Bb Bb イ
対象者	小学校、中学校、特別支援学校小学部（準ずる教育）の教員 ※ この講座は、公開講演だけを聴講することもできます。公開講演のみに参加する方は、開催1週間前までにお申し込み（p35～37 参照）ください。				
ICT活用指導力	児童が効果的に ICT を活用できるような、国語の単元づくりや授業づくりをすることができる。				

この研修では、基礎的・基本的な内容を押さえながら、国語科授業の具体化を演習形式で考えていきます。

前半は、全国学力・学習状況調査問題や香川県学習状況調査の問題とその結果を基に、香川の子供たちの状況の分析をします。

後半は、授業改善の視点を生かしながら、具体的な授業の進め方と評価の在り方について考えます。楽しく交流しながら授業改善の在り方を探りましょう。



井上先生のお話には、国語が好きと言える子供たちを育てるためのヒントがいっぱいです。

〈午後〉公開講演（13:25～16:20）

「ICT を効果的に活用した小学校国語の授業づくり—個別化と最適化を考慮した学力の向上—」

元文部科学省 教科調査官 井上 一郎 先生

講座番号	306	講座名	中学校国語の授業づくり	定員	20
期日・会場	7月25日(火) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Bb Bb イ
対象者	中学校、特別支援学校中学部（準ずる教育）の教員				
ICT活用指導力	生徒が効果的に ICT を活用できるような、国語の単元づくりや授業づくりをすることができる。				



研修の前半では、全国学力・学習状況調査の問題や香川県学習状況調査の問題とその結果を基に、香川の子供たちの状況を分析します。

後半は、指導の改善点を踏まえた授業づくりを、2学期に実践できる題材を基に、演習形式で考えていきます。



授業が変われば、生徒が変わる。

自己研修のヒントがつかめるかもしれません。その第一歩をこの研修から始めましょう。

講座番号	307	講座名	高校国語の授業改善	定員	10
期日・会場	10月17日(火) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Bb
対象者	高等学校、特別支援学校高等部(準ずる教育)の教員				

本研修では、主に言語活動を軸とした国語の授業実践についての研究協議を行います。

思考力・判断力・表現力をはぐくむ「言語活動の充実」の成果と課題は、新学習指導要領で求められる「主体的・対話的で深い学び」につながるものです。

単元指導計画の中で効果的に言語活動を位置づけ、生徒の主体的な学びを引き出す授業づくりの工夫について、グループ協議を通して考えていきましょう。

An illustration of a classroom scene. A male teacher in a brown jacket stands at the back of the room, observing a group of students. The students, both male and female, are seated at several wooden desks arranged in small groups. They are engaged in various activities: some are looking at papers, some are talking to each other, and one student in the foreground is looking towards the teacher. The scene depicts a collaborative learning environment.



講座番号	308	講座名	小学校算数の授業づくり	定員	30
期日・会場	7月24日(月) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Bb
対象者	小学校、特別支援学校小学部(準ずる教育)の教員				

本研修では、演習を通して、算数の授業改善について考えます。

前半は、全国学力・学習状況調査の問題と香川県学習状況調査の質問紙調査の結果を参考に、香川の子供たちの「つまずき」や、その支援について、考えます。



後半は、前半での協議を基に、具体的な授業の進め方について考えます。授業づくりについて、演習を交えながら一緒に考えていきましょう。



講座番号	309	講座名	中学校数学の授業づくり	定員	30
期日・会場	8月17日(木) 9:25～12:25 県教育センター			指標	Bb
対象者	中学校、特別支援学校中学部(準ずる教育)の教員				

本研修では、これまでの全国学力・学習状況調査問題とその結果等を基に、生徒がどこでつまづいているのか、これまでの指導をどのように改善すればよいのか、などについて考えます。

前半は、全国学力・学習状況調査の問題と香川県学習状況調査の質問紙調査の結果を参考に、香川の子供たちの「つまづき」や、その支援について、グループで考えます。

後半は、前半での協議を基に、授業づくりについて、演習を交えて一緒に考えていく研修を行います。

講座番号	310	講座名	高校数学の授業改善	定員	10
期日・会場	10月17日(火) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Bb
対象者	高等学校、特別支援学校高等部(準ずる教育)の教員				



本研修では、新学習指導要領改訂のポイントを確認し、高校数学の授業改善について探究します。

「どのように学ぶか」を意識しながら、数学の1時間の授業展開案について参加者で協議することで、今後の授業改善に必要な視点を得ることを目指します。

授業改善に積極的に取り組みたい方のご参加をお待ちしております。



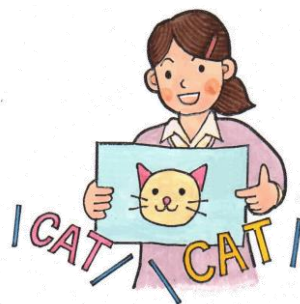
講座番号	311	講座名	小学校外国語の授業づくり	定員	30
期日・会場	7月28日（金） 9：25～12：25 県教育センター			指標	Bb
対象者	小学校、中学校、特別支援学校小学部・中学部（準ずる教育）の教員				

本研修では、基礎的・基本的な内容を押さえながら、外国語活動・外国語科の授業の具体化を演習形式で考えていきます。

前半は、学習指導要領を中心に、これからの小学校における外国語教育の在り方について確認をします。

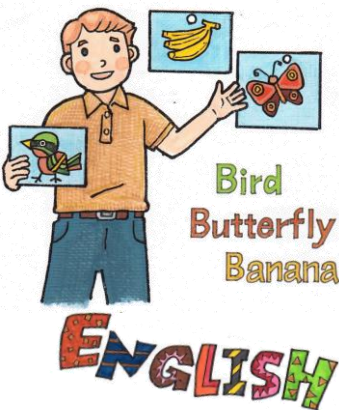
後半は、講話や演習、協議を交え、具体的な授業の進め方や評価について考えます。教材・教科書を基に互いにアイデアを交流させながら、明日からの授業を一緒に考えていきましょう。





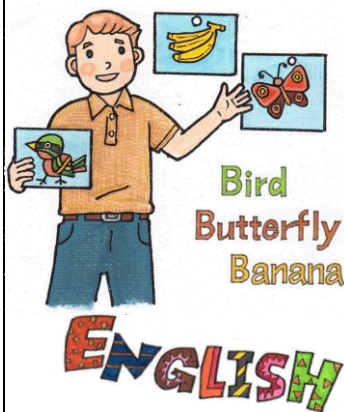
講座番号	312	講座名	中学校外国語の授業づくり	定員	25
期日・会場	8月17日(木) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Bb
対象者	中学校、特別支援学校中学部（準ずる教育）の教員				

本研修では、学習指導要領の趣旨を踏まえた、外国語の授業について考えます。



前半は、「発信力向上をめざした指導の工夫について」をテーマに協議します。アウトプットの中でも、「話すこと[やり取り]」及び「話すこと[発表]」を中心とした効果的な指導について、実践例を踏まえながら協議し、今後の指導方法について検討します。

後半は、各校の CAN-DO リストと各自のパフォーマンステストを基に、「指導と評価の一体化」について協議し、改善点を探るとともに、指導と評価を捉える視点について見識を深めます。



講座番号	313	講座名	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	定員	90
期日・会場	6月13日（火）13：25～16：25 県教育センター			指標	Bb
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※ この講座は、公開講演だけを聴講することもできます。公開講演のみに参加する方は、開催1週間前までにお申し込み（p35～37 参照）ください。				
学習指導要領で示された、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について、基本的な理解を深め、具体的な改善方法や視点を得るための研修です。 ☐ 公開講演 「『主体的・対話的で深い学び』のために ー自己調整学習の視点からー」 香川大学 准教授 岡田 涼 先生 ☐ 演習 校種別に分かれ、授業づくりについての演習を通して、授業改善の具体的な手立てについて考えます。					





講座番号	314	講座名	財政と税制を 主体的・対話的に学ぶ授業づくり	定員	30
期日・会場	8月 1日(火) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Bb
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員				

財政教育、金融教育、主権者教育…って言われていますが、実際に授業となると困っている先生は多いのではないのでしょうか。

この研修では、児童生徒に対して実際に授業をしている講師を高松税務署と四国財務局からお招きして、授業で活用している教材やICT機器を使ったツールを体験できます。また、財政や税制の視点から社会に参画する力の育成を目指す授業づくりについて協議することで、授業力の向上を目指します。

＜研修プログラム(予定)＞

【前半】…高松税務署と四国財務局の講師による講話・演習

- ・ICT機器を使った教材やツールを実際に体験

例) 財政教育プログラム・国税庁HP確定申告書等作成コーナー

【後半】…グループ協議

- ・体験した教材やツールを使った授業づくりについて協議

財政教育プログラムの紹介

租税教育の紹介



財政教育プログラムの紹介



租税教育の紹介

講座番号	315	講座名	ネットトラブルの現状と対応	定員	20
期日・会場	8月 2日（水） 9：25～12：25 県教育センター			指標	Bc
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員				

保護者や子供から「ネットのことで・・・」と相談されると、「ネットのことはよく分からないのに・・・」と不安になる先生はいませんか？

子供がインターネット上で遭遇する様々なトラブルは、いじめや不登校等、学校生活の諸問題と密接に関わっています。このようなネットトラブルは、現実の人間関係や子供が抱える悩みに立ち戻り解決していくことが重要です。

この研修では、子供を取り巻くネット事情を理解したり、事例に基づく演習をしたりすることを通して、ネットトラブルに対応するコツを学んでいきます。





講座番号	316	講座名	教育相談の校内体制づくり ー不登校の子供へのチーム援助ー	定員	30
期日・会場	7月25日(火) 9:25～12:25 県教育センター			指標	Bc 7
対象者	小学校、中学校の教員				

不登校の早期対応のための情報共有と組織的支援を効果的に行う支援体制づくりや、ケース会議の進め方について考えます。アンケートの作成例や、記録シートなど、日々忙しい業務の中でも簡単にチーム支援を始められるアイデアを紹介します。

- ・ それぞれの立場でできること
- ・ 情報を共有する手立て
- ・ アセスメント（見立て）の手法
- ・ ケース会議の進め方

また、不登校の状態が続く場合に、どんな支援ができるかを、段階別、対象別に考えます。子供や保護者の不安に寄り添う声かけなど、具体的なアプローチの仕方について、お互いに情報交換しながら、無理なくできる教育相談のヒントを見つけましょう。



講座番号	317	講座名	発達障害のある子供の 保護者との教育相談	定員	32
期日・会場	8月 4日（金） 9：25～12：25 県教育センター			指標	Ab 7
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員				

「あの一言さえ言わなかったら、あとの事態はずいぶんと変わっていたかも」ということはありますか？

保護者と教師がよりよい関係を築くことで、子供たちは安心して学校（園）生活を送ることができます。

特別支援教育における教育相談では、どのようなことを心にとめて保護者の話を聴いていけばよいのでしょうか。

校内での支援体制づくりや関係機関等との連携にも触れ、子供や保護者の困り感についてしっかりと耳を傾けながら、具体的な支援策を保護者と一緒に考えていく教育相談の技法について演習を行います。





講座番号	318	講座名	教育相談の視点からの ホームルーム経営	定員	20
期日・会場	8月 4日（金）13：25～16：25 県教育センター			指標	Bc
対象者	高等学校、特別支援学校高等部の教員				

本研修では、発達支持的・課題予防的な教育相談を日常のホームルーム経営の中で進めていくための考え方を理解しつつ、参加された先生方のアイデアから学びあうことを目指します。

教育相談は、生徒や保護者との「何事も生じていないとき」の関わりが大切と言われます。しかし、実際に行うとなると、「何をすればいいのか」「本当に労力に見合う効果があるのか」など、疑問に思うこともあるのではないのでしょうか。

先生方が自分らしいホームルーム経営のあり方を見つけ出す一助になればと思っています。



講座番号	319	講座名	こんなに使える表計算ソフト(関数編)	定員	40
期日・会場	8月 2日(水) 13:25～16:25 情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)			指標	AcⅠ
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員及び事務職員				
ICT活用指導力	表計算ソフトを活用して児童・生徒の学習状況・成績等を管理したり、集計したりすることができる				

この講座は初心者の方も安心して受講できます。
データの入力、書式の設定、簡単な数式の入力等の Excel[※]の基本操作の
できる方で日頃データ入力だけ利用されている方、関数が苦手な方、これ
から関数を利用して資料を作成したい方、奮って参加してください。

表計算ソフト Excel の関数を基礎から学びたい方を対象に、主に成績処理を題材とし
て、基本的な関数の利用方法を習得し、活用することを目的とした講座です。
基本的な関数から論理・検索関数等、実務に役立つ関数を学びます。

※ Excel は、Microsoft Corporation の登録商標です。

講座番号	320	講座名	プレゼンソフトを用いた授業教材作成	定員	40
期日・会場	8月17日(木) 13:25～16:25 情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)			指標	AcⅠ
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	わかりやすく説明したり、生徒の思考や理解を深めたりするために、タブレット端末等を活用して資料等を効果的に提示することができる				
PowerPoint を用いて、分かりやすく効果的な資料作成のポイントやプレゼンテーションの基礎を学びます。 また、スライドムービーを用いた教材作成および作成した教材をインターネット上へアップロードする方法を学びます。  * PowerPoint は、Microsoft Corporation の登録商標です。					

講座番号	321	講座名	はじめてさわるタブレット端末 (iPad 編)	定員	20
期日・会場	8月 4日(金) 13:25～16:25 情報通信交流館(e-とびあ・かがわ)			指標	Acイ
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員及び事務職員				
ICT活用指導力	学習に対する児童・生徒の興味・関心を高めるために、タブレット端末を活用 することができる				

この講座は初心者の方も安心して受講できます。
タブレット端末に興味はあるが、さわったことがない方、使ってみたい
けどきっかけがつかめない方・・・
まずはこの講座で体験してみましょう。

タブレット端末 (iPad) の基本的な機能や操作方法について学び、
実際に操作体験をします。



* iPad は、Apple inc.の登録商標です。

講座番号	322	講座名	はじめての Chromebook	定員	40
期日・会場	6月30日（金）13：25～16：25 県教育センター			指標	Bbイ
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	児童生徒が Chromebook を使って意見を整理したり協働制作したりするのを指導することができる				

Windows PC や iPad は使ったことがあるけれど、Chromebook は使ったことがなくてよく分からないという方はいらっしゃいませんか。この講座は、Chromebook（Chrome OS）をほとんど使ったことがない、児童生徒にどうやって指導すればいいのかわからないという方を対象とした初心者向けの講座です。Chromebook（Chrome OS）の基本的な機能や操作方法、ファイル共有の基礎等を、実際に Chromebook を操作しながら学びます。

* Chromebook は、Google LLC の商標または登録商標です。

講座番号	323	講座名	Google Workspace 活用【7月開催】	定員	30
期日・会場	7月25日（火）13：25～16：25 県教育センター ※ 講座番号324と同内容となります。			指標	Bbイ
対象者	中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	Google Workspace を授業で活用できる				
Google for Education で用意されるアプリ群（Google Workspace for Education）を授業で活用できるように、演習を通して学び、タブレット端末活用のスキルアップを目指します。 《主な内容》 ・ 講話 「タブレット端末の利活用」 ・ 演習 「Google Workspaceの活用」 Chromebookについて Google Classroom Google Forms Googleドキュメント、Googleスプレッドシート、 Googleスライド、Jamboard 					
* Google Workspace、Google for Education、Google Workspace for Education、Chromebook、Google Classroom、Google Forms、Googleドキュメント、Googleスプレッドシート、Googleスライド、Jamboardは、Google LLCの商標または登録商標です。					

講座番号	324	講座名	Google Workspace 活用【8月開催】	定員	30
期日・会場	8月17日（木）13：25～16：25 県教育センター ※ 講座番号323と同内容となります。			指標	Bbイ
対象者	中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	Google Workspace を授業で活用できる				

Google for Education で用意されるアプリ群（Google Workspace for Education）を授業で活用できるように、演習を通して学び、タブレット端末活用のスキルアップを目指します。

《主な内容》

- ・ 講話 「タブレット端末の利活用」
- ・ 演習 「Google Workspaceの活用」
Chromebookについて
Google Classroom
Google Forms
Googleドキュメント、Googleスプレッドシート、
Googleスライド、Jamboard



* Google Workspace、Google for Education、Google Workspace for Education、Chromebook、Google Classroom、Google Forms、Googleドキュメント、Googleスプレッドシート、Googleスライド、Jamboardは、Google LLCの商標または登録商標です。

講座番号	325	講座名	Teams 活用(含 Office365)【7月開催】	定員	30
期日・会場	7月25日(火) 9:25～12:25 県教育センター ※ 講座番号326と同内容となります。			指標	BbⅠ
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	Microsoft (Office) 365 を授業で活用できる				

Microsoft(Office)365で用意されるTeams(含Microsoft365)を授業で活用できるように、演習を通して学び、タブレット端末活用のスキルアップを目指します。

《主な内容》

- 講話 「タブレット端末の利活用」
- 講話・演習 「Teams(含Microsoft365)の活用」
 - Teamsについて
 - Word、Excel、PowerPointを用いた共同編集
 - Forms
 - 課題配信
 - ClassNotebook



* Microsoft365、Teams、Word、Excel、PowerPoint、Forms、ClassNotebookは、Microsoft Corporationの登録商標です。

講座番号	326	講座名	Teams 活用(含 Office365)【8月開催】	定員	30
期日・会場	8月17日(木) 9:25～12:25 県教育センター ※ 講座番号325と同内容となります。			指標	BbⅠ
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	Microsoft (Office) 365 を授業で活用できる				

Microsoft Office365で用意されるTeams（含Microsoft365）を授業で活用できるように、演習を通して学び、タブレット端末活用のスキルアップを目指します。

《主な内容》

講話 「タブレット端末の利活用」

講話・演習 「Teams（含Microsoft365）の活用」

- Teamsについて
- Word、Excel、PowerPointを用いた共同編集
- Forms
- 課題配信
- ClassNotebook



* Microsoft365、Teams、Word、Excel、PowerPoint、Forms、ClassNotebookは、Microsoft Corporationの登録商標です。

講座番号	327	講座名	はじめてのロイロノート(MetaMoJi)	定員	40
期日・会場	7月31日(月) 9:25～12:25 県教育センター			指標	Bbイ
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	協働学習を活性化し児童生徒の思考や理解を深めたり、表現を豊かにしたりするために、タブレット端末と学習支援ツールを活用して指導することができる				
学習支援ツール(ロイロノート・MetaMoJi)の基本操作や活用した協働学習の指導方法について演習を通して学び、ICT活用指導力のスキルアップを目指します。演習は、ロイロノート・スクールとMetaMoJi Classroomに分かれて行います。					
《主な内容》					
講話 「タブレット端末の利活用」					
講話・演習「基本操作～協働学習の進め方」					
- 教材の作成と配付 - 協働制作 - 意見整理					
					
* ロイロノート・スクールはLoiLo(株)の登録商標です。					
MetaMoJi ClassroomはMetaMoJi(株)の登録商標です。					



講座番号	328	講座名	ロイロノート(MetaMoJi)で授業づくり	定員	40
期日・会場	7月31日(月) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Bbイ
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	協働学習を活性化し児童生徒の思考や理解を深めたり、表現を豊かにしたりするために、タブレット端末と学習支援ツールを効果的に活用して指導することができる				

学習支援ツール(ロイロノート・MetaMoJi)を効果的に活用した協働学習の指導方法について演習を通して学んだり、実践交流したりして ICT 活用指導力のスキルアップを目指します。演習は、ロイロノート・スクールと MetaMoJi Classroom に分かれて行います。

《主な内容》

講話 「タブレット端末の利活用」

講話・演習「協働学習の効果的な進め方」

- ・ 協働制作
- ・ 意見整理
- ・ 実践交流



* ロイロノート・スクールはLoiLo(株)の登録商標です。
MetaMoJi Classroom は MetaMoJi(株)の登録商標です。



講座番号	329	講座名	Google クラスルーム in 小学校 一学級遊びから楽しく始めようー		定員	40
期日・会場	8月23日(水) 9:25～12:25 県教育センター				指標	Bbイ
対象者	小学校、特別支援学校小学部の教員					
ICT活用指導力	協働学習を活性化し児童の思考や理解を深めたり、表現を豊かにしたりするために、タブレット端末と学習支援ツールを効果的に活用して指導することができる					
学級遊びの中で児童に Google クラスルームなどを活用した協働学習の基礎スキルを指導する方法について演習を通して学び、ICT 活用指導力のスキルアップを目指します。 《主な内容》 講話・演習「Google クラスルームの基本」 ・ クラス作成、生徒登録、課題配付 演習 「学級遊びで協働学習の基礎スキルを指導する」 Google スプレッドシート Google Jamboard						
						
* Google クラスルーム、Google スプレッドシート、Google Jamboard は、Google LLC の商標または登録商標です。						

講座番号	330	講座名	Google クラシック in 小学校 一授業でも使ってみよう		定員	40
期日・会場	8月23日(水) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Bbイ	
対象者	小学校、特別支援学校小学部の教員					
ICT活用指導力	協働学習を活性化し児童の思考や理解を深めたり、表現を豊かにしたりするために、タブレット端末と学習支援ツールを効果的に活用して指導することができる					

授業の中で Google クラシックを活用して課題を配付・共有し協働学習を指導する方法について演習を通して学び、ICT 活用指導力のスキルアップを目指します。

《主な内容》

講話・演習「Google Workspace 主要アプリの機能」

演習 「協働学習用の課題作成・配付」

Google スプレッドシート

Google Jamboard

Google スライド



* Google Workspace、Google スプレッドシート、Google Jamboard、Google スライドは、Google LLC の商標または登録商標です。

講座番号	331	講座名	小・中学校のオンライン学習実践	定員	30
期日・会場	10月31日（火）13：25～16：25 県教育センター			指標	BbⅠ
対象者	小学校、中学校の教員				
ICT活用指導力	オンライン会議システムの機能を活かしながら授業や会議をすることができる				

オンライン学習の実践に係る Web 会議システム等の操作技能の習得と授業での活用能力の向上を図る研修です。

〈主な内容〉

- ① 講話「教育の情報化に向けて」
- ② 演習Ⅰ「Web 会議システムの活用について」
- ③ 演習Ⅱ「オンライン上でのグループ協議」
- ④ 演習Ⅲ「授業等での具体的な活用について」

※ 演習ツールとしての Web 会議システムは、『Microsoft Teams』を使用します。

* Microsoft Teams は、Microsoft Corporation の登録商標です。





講座番号	332	講座名	特別支援教育における タブレット端末活用(iPad 編)	定員	32
期日・会場	7月21日(金) 9:25～12:25 県教育センター			指標	AcアⅠ
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	わかりやすく説明したり、生徒の思考や理解を深めたりするために、タブレット端末を活用することができる				
主に、特別支援学級担当もしくは特別支援教育に携わっている方を対象としてタブレット端末を活用するヒントについて学ぶことのできる研修です。 基本的な考え方や便利なアプリなどについて実際に体験しながら学ぶことができます。 ・「特別支援教育でのタブレット端末活用の現状と課題」(講話) ・「タブレット端末入門」(講話・演習) 「タブレット端末アプリ体験」 「タブレット端末を使った授業体験」					



* iPad は、Apple inc.の登録商標です。



講座番号	333	講座名	特別支援教育における タブレット端末活用(Windows 編)	定員	午前 午後 各15
期日・会場	8月18日(金) 9:25～12:25 13:25～16:25 情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ) 上記のうちいずれかの時間帯(同内容)			指標	Acアイ
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	わかりやすく説明したり、生徒の思考や理解を深めたりするために、タブレット 端末を活用することができる				
主に、特別支援学級担当もしくは特別支援教育に携わっている方を対象としてタブレット 端末を活用するヒントについて学ぶことのできる研修です。 基本的な考え方や便利なアプリなどについて実際に体験しながら学ぶことができます。					
・「特別支援教育でのタブレット端末活用の現状と課題」(講話) ・「タブレット端末入門」(講話・演習) 「タブレット端末アプリ体験」 「タブレット端末を使った授業体験」 					
* WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。					



講座番号	334	講座名	さわってみよう ビジュアルプログラミング言語(スクラッチ編)	定員	40
期日・会場	7月21日(金) 13:25～16:25 情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)			指標	Acイ
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員及び事務職員				
ICT活用指導力	プログラミングの体験を通して、基本的なビジュアルプログラミング言語を扱うことができる				

この講座は初心者の方も安心して受講できます。
ビジュアルプログラミング言語に興味はあるが、さわったことがない方、
使ってみたいけどきっかけがつかめない方・・・
まずはこの講座で「スクラッチ」を体験してみましょう。



ビジュアルプログラミング言語(スクラッチ)の基本的な扱い方について学び、
実際にプログラミング体験をします。

※ Scratch は MIT メディア・ラボの Lifelong Kindergarten グループによって開発されました。
くわしくは <https://scratch.mit.edu> をご参照ください。



番 講 座 号	335	講座名	小学校プログラミング教育の 授業づくり(基礎編)	定員	25
期日・会場	7月28日(金) 9:25～12:25 県教育センター			指標	Ac イ Bb イ
対 象 者	小学校、特別支援学校小学部の教員				
ICT 活用指導力	小学校プログラミング教育について理解し、プログラミング教育を通してプログラミング的思考の育成ができる				
小学校プログラミング教育のねらい等の基本事項を知り、プログラミング体験等を通して、プログラミング的思考の育成について学びます。					
※本研修ではChromebookとiPadを使用しますが、紹介するプログラミング教材はWindowsPCでも利用できる教材です。					
《主な内容》					
講話 「小学校プログラミング教育について」					
演習 「プログラミング体験」					
・アンプラグド プログラミング					
・ビジュアル プログラミング					
・フィジカル プログラミング					
					
＊ iPadはApple inc.の登録商標です。ChromebookはGoogle LLC社の登録商標です。WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。					

講座番号	336	講座名	小学校プログラミング教育の 授業づくり(教科編)	定員	25
期日・会場	7月28日(金) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Ac イ Bb イ
対象者	小学校、特別支援学校小学部の教員				
ICT活用指導力	小学校の教科においてプログラミング教育を指導することができる				
小学校の教科におけるプログラミング教育の模擬授業や各種教材活用の演習等を通して、 プログラミング教育の授業づくりについて学びます。					
※本研修ではChromebookとiPadを使用しますが、紹介するプログラミング教材はWindowsPCでも利用できる教材です。					
《主な内容》 講話 「教科におけるプログラミング教育」 演習 「プログラミング教材の活用」 ・5年 算数 「円と正多角形」 ・6年 理科 「電気の利用」					

* iPadはApple inc.の登録商標です。ChromebookはGoogle LLC社の登録商標です。

WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。

講座番号	337	講座名	中学校技術のプログラミング教育の授業づくり(教科編)	定員	20
期日・会場	7月27日(木) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Ac イ Bb イ
対象者	中学校、特別支援学校中学部の教員				
ICT活用指導力	中学校の技術分野においてプログラミング教育を指導することができる				

中学校技術分野でのプログラミング教育のねらい等の基本事項や、小学校プログラミング教育及び、高等学校情報Ⅰのプログラミング教育とのつながりについて解説します。

演習では、「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング」「計測・制御のプログラミング」についてのプログラミング体験等を通して、目指す資質・能力の育成にむけた授業づくりについて研修します。

《主な内容》

講話 「教科におけるプログラミング教育」

演習

- ・双方向性のあるコンテンツのプログラミング
- ・計測・制御のプログラミング

※ 本研修ではChromebookを使用しますが、紹介するプログラミング教材はiPadやWindowsPCでも利用できる教材です。

* ChromebookはGoogle LLC社の登録商標です。WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。

講座番号	338	講座名	高等学校プログラミング教育の授業づくり—Google Colaboratory で Python 編—	定員	30
期日・会場	7月 4日(火) 13:25～16:25 県教育センター 7月 5日(水) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Bbイ
対象者	中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	Pythonによるプログラミングの授業を GoogleColaboratory でできる				
令和4年度から始まった高等学校情報Ⅰのプログラミング教育に向けて、Pythonによるプログラミングを GoogleColaboratory で体験し、実際にプログラミングを行います。 プログラミングの技能だけによるのではなく、実際に授業で気を付けたいポイントについて解説します。 ※ 本研修ではChromebookを使用しますが、紹介するプログラミング教材はiPadやWindowsPCでも利用できる教材です。 * iPadはApple inc.の登録商標です。ChromebookはGoogle LLC社の登録商標です。WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。					

講座番号	339	講座名	高等学校プログラミング教育の授業づくり ―Excelで Basic 編―	定員	30
期日・会場	7月 6日(木) 13:25～16:25 県教育センター 7月 7日(金) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Bbイ
対象者	中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	Basicによるプログラミングの授業を Excel 付属の Visual Basic Editor でできる				

令和4年度から始まった高等学校情報Ⅰのプログラミング教育に向けて、BasicによるプログラミングをExcel付属Visual Basic Editorで体験し、実際にプログラミングを行います。

プログラミングの技能だけによるのではなく、実際に授業で気を付けたいポイントについて解説します。

※ 本研修はWindowsPCを持参していただき、教育センターのモバイルルーターに接続します。

※ 県立学校の方は、Microsoftアカウントをご準備ください。

* WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。

講座番号	340	講座名	「デジタル・シティズンシップ教育」をはじめよう	定員	40
期日・会場	7月 7日（金）13：25～16：25 県教育センター			指標	Ac イ Bc イ
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	デジタル・シティズンシップについて理解を深め、「デジタル・シティズンシップ教育」を推進できる				
1人1台端末時代に必要なデジタル・シティズンシップ（デジタル技術の利用を通じて社会に積極的に関与し、参加する能力）の育成について講話・演習形式で理解を深め、各校における「デジタル・シティズンシップ教育」の推進を目指します。					
《主な内容》					
講話 「デジタル・シティズンシップ教育をはじめよう」					
演習 「模擬授業①」 対象：小学校					
「模擬授業②」 対象：中学校・高等学校					





講座番号	341	講座名	特別支援教育障害種別 －知的障害、発達障害、自閉症－	定員	40
期日・会場	6月16日（金） 9：25～16：10 香川西部支援学校 ※ この講座は、5月に別途通知して参加者を募ります。			指標	Baア Bbア Bcア
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、特別支援学校の教員				

〈午前〉

会場校である香川西部支援学校の授業を見せていただき、指導方法や教材・教具について考えます。実際の授業に触れることで、発達の段階に応じた課題設定や支援の在り方を一緒に勉強しましょう。

〈午後〉

「知的障害」「発達障害」の2つのテーマの分科会に分かれて研修報告や実践発表を聞き、学びを深めます。

明日からの支援のヒントがきっと見つかります。



講座番号	342	講座名	特別支援教育障害種別 －聴覚・言語障害、肢体不自由、視覚障害、病弱－	定員	40
期日・会場	6月30日（金） 9：25～16：10 聴覚支援学校 ※ この講座は、5月に別途通知して参加者を募ります。			指標	Baア Bbア Bcア
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、特別支援学校の教員				



〈午前〉

会場校である聴覚支援学校の授業を見せていただき、授業研究を行います。

実践の授業に触れることで、症状や発達の段階に応じた具体的な指導方法や教材教具等について、学びを深めましょう。

〈午後〉

「聴覚・言語障害、視覚障害」、「肢体不自由・病弱」のテーマで分科会に分かれ、長期研修報告や実践発表を基に障害特性に応じた指導・支援の工夫について学びます。

明日からの支援のヒントがきっと見つかります。



講座番号	343	講座名	管理職マネジメント	定員	30
期日・会場	11月 9日(木) 13:15～16:25 県教育センター			指標	管 Ac 7 管 Cb
対象者	小学校、中学校の校長、副校長、教頭				

学校運営に関する高度で専門的な知識や技能を習得し、組織的に学校を運営する実践力を高めます。主な内容は以下の2点です。

① 公開講演「特別支援教育（発達障害）」
香川大学教育学部 教授 坂井聡先生を講師にお迎えします。
最近、増加している特別な支援が必要な児童生徒について、その対応をするにあたり管理職としてぜひ知っておく必要がある内容について学びます。

② 講話・研究協議「法に基づく生徒指導対応について」
「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果から県全体の傾向をつかみ、様々なケースについて、管理職として法に基づきどのように対応すべきかを協議します。スクールロイヤーと義務教育課課長補佐が、問題提起や助言を行います。





講座番号	344	講座名	子供の命を守る！ 「南海地震防災シミュレーション」	定員	30
期日・会場	8月 4日（金） 9：25～16：10 県防災センター・県消防学校			指標	Cc 管 Ca
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員及び事務職員				

東日本大震災では、徹底した防災教育を行っていた釜石市において、出席児童生徒の全員が助かりました。30年以内に70～80%の確率で起こるとされる南海トラフを震源とする巨大地震が発生したときに備え、子供たちの命を守る方策を考えていきましょう。

内容

① 実習「災害体験」（地震体験・煙避難体験・地震体験・暴風体験 等）

② 講話「南海地震の被害想定を踏まえた備えについて」

③ 講話「緊急地震速報の活用について」

④ 南海地震防災シミュレーション

県防災センターや高松地方気象台の方々からアドバイスをいただきます。

講座番号	345	講座名	災害時の対応訓練	定員	20
期日・会場	8月24日（木） 9：25～16：25 香川大学林町キャンパス			指標	Cc 管Ca
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員及び事務職員				
災害発生時に、状況を判断し、意志決定を行い、行動を起こすという一連の訓練を経て災害時の実践力の習得を目指します。災害発生時に児童生徒の安全確保・避難誘導の初期対応を行うであろう担任等をされている先生方にも、災害時に学校運営を行う可能性のある管理職の先生方にも学びの多い内容となっています。 研修内容（予定） ① 災害対応についての講話 ② バーチャルリアリティを用いて災害状況を再現した訓練システムを活用した演習 ③ HUG(避難所運営ゲーム) ④ 研修の振り返り					

講座番号	346	講座名	防災士になろう	定員	20
期日・会場	7月27日(木) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Cc 管Ca
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員及び事務職員				
本講座を受講することで、「防災士(NPO 法人日本防災士機構)」の登録に必要な「<u>救急救命講習修了書</u>」の交付を受けることができます。 本研修を受講した者は、香川大学公開講座「防災士養成講座」に優先的に申し込むことができます。(※ 香川大学公開講座「防災士養成講座」最終日に実施する防災士資格取得試験に合格することで、「防災士資格」を取得できます。香川大学公開講座「防災士養成講座」には受講料・教本代が必要です。) 事前課題 : 応急手当 Web 講習(e-ラーニング)(消防庁) 研修内容 ・ 普通救命講習Ⅰ ・ 講話「防災士を目指して(仮)」					

講座番号	347	講座名	地元の自然から学ぶ！ さぬきの森フィールドワーク	定員	20
期日・会場	7月24日（月）10：00～16：00 国営讃岐まんのう公園			指標	Ac
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員				

様々な教科や機会において環境教育の視点は重要であり、地元の自然を理解することがその基本となります。国営讃岐まんのう公園において、室内での講話・演習や野外フィールドワーク（「さぬきの森・自然生態園エリア」において、瀬戸内海地域に特徴的な里山を巡る体験活動）を通して、郷土の自然を新たな視点で見つめ直し、環境学習のポイントや伝え方を学びます。

● 講師：インタープリターボランティア 井上博夫氏
（環境省：環境カウンセラー、高松市公立学校特別非常勤講師）

● 内容

【午 前】・ 環境教育プログラム[室内]
【午 後】・ 環境教育体験型アクティビティー[室内]
・ さぬきの森フィールドワーク(※)

※ 90 分程度の野外フィールドワーク（主に木陰での活動）を予定しています。野外実習ができる服装(長袖・長ズボン・歩きやすい靴・帽子)で参加してください。





講座番号	348	講座名	香川の「ジオ教材」 フィールドワークプログラム	定員	20
期日・会場	12月26日（火） 9：00～16：25 県内のジオサイト ※ この講座は10月頃に別途通知して、受講者を募ります。			指標	Bb
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※ 高松市立小・中学校の教員は受講対象者ではありません。 ※ 高松第一高等学校の教員は受講対象者です。				

香川県には、世界的に貴重なジオサイトや石の文化など、世界ジオパークの室戸や山陰海岸に負けないくらいの素材が豊富にあります。讃岐のジオサイトについて、香川大学創造工学部の長谷川修一教授に解説をしていただきます。地学分野の基礎知識や指導方法の向上を図るとともに、地元の自然を教材化していきましょう。

※ 参加する際は、基本的な地学用語等を理解しておいてください。

※ 定員を上回る申込があった場合、担当授業の専門性、過去の本研修講座への参加回数等により受講者を決定させていただきます。

教職大学院連携研修

講座番号	401	講座名	資質・能力を育む教科の授業づくり	定員	70
期日・会場	8月 4日（金） 9：25～12：25 各所属校等 ※ この講座はオンライン研修（同時双方向型）での開催になります。			指標	Bb
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※ 私立学校及び香川高等専門学校の教員は受講対象者ではありません。				

「資質・能力を育む」とはどのようなことでしょうか。「教科学習を通じて資質・能力を育む」とはどのようなことを様々な実践事例を通じて共に考えていくことを目的とします。

「知識」とは異なり、「資質・能力」は人間が本来内に持っている能力だと言われます。

「資質・能力」を使う学習活動が、当の「資質・能力」を育むと言われます。こうした考え方を納得できると、授業を考える視野が広がります。

〈主な内容〉※小・中学校での実践を想定した研修です。

- ① 「資質・能力の形成と教科学習」（講話）
- ② 「資質・能力を使ってテキストを読み解く学習活動」（演習）
- ③ 「学習活動を駆使した授業の分析」（演習）

なお、本講座の受講者には、香川県教育センター所長による「受講証明書」が発行されます。

講座番号	402	講座名	道徳科の授業づくり	定員	50
期日・会場	8月 2日（水） 13：25～16：25 県教育センター			指標	Bb Bbイ
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※ 私立学校及び香川高等専門学校の教員は受講対象者ではありません。				
ICT活用指導力	道徳科の授業において、各場面における ICT の活用方法や効果を理解することができる。				

道徳科の授業づくりについて、内容項目の理解や教材の分析等、具体的な演習や講話を通して、大切にしたい視点や考え方を学びます。特に、授業づくりの多様な指導方法に関して、解説等で確認し実践事例より工夫や改善点を理解し、板書構想や ICT 活用についての演習（グループワーク）を通して大切にしたいポイントを確認することで授業を考える視野が広がります。

〈主な内容〉※小・中学校の教材を使用します。

- ・ 講話「特別の教科 道徳における多様な指導の在り方」
- ・ 講話・演習「道徳科における ICT 活用」

なお、本講座の受講者には、香川県教育センター所長による「受講証明書」が発行されます。

講座番号	403	講座名	教育効果を高めるための ICT 活用法	定員	午前 午後 各 30
期日・会場	8月 4日(金) 9:25~12:25 県教育センター 13:25~16:25 県教育センター 上記のうちいずれかの時間帯(受講時間帯は選択できません。)			指標	Bb イ
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※ 私立学校及び香川高等専門学校の教員は受講対象者ではありません。				
ICT 活用指導力	教育効果を上げるためには、どの学習場面にどのようにタブレット端末を活用すればよいか、計画することができる。				
学校現場において、近年、大型提示装置(電子黒板やプロジェクタとスクリーンなど)・実物投影装置・デジタルカメラ・デジタル教科書等の整備が急速に進められています。加えて、1人1台端末(タブレット PC 等)の実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、「GIGA スクール構想」におけるハード・ソフト・人材を一体とした整備が進められています。 効果的な授業実践を実現するには、整備された ICT 機器/環境をどのように活用すればよいのでしょうか。主体的・対話的な演習と講話を通して、考えを深めたいと思います。 〈主な内容〉※小・中学校での実践を想定した研修が中心となります。 ○ 情報活用能力の育成並びに情報教育の在り方について(講話) ○ ICT 機器を活用した授業実践事例(講話) ○ ICT 機器に触れながら、ICT 活用授業を構想しよう(演習) ○ 演習の成果を共有しよう。→効果的な ICT 活用授業のポイントとは?(演習・講話) なお、本講座の受講者には、香川県教育センター所長による「受講証明書」が発行されます。					



講座番号	404	講座名	授業における特別支援教育	定員	50
期日・会場	7月27日(木) 9:30～12:25 各所属校等 ※ この講座は、オンライン研修(同時双方向型)での開催になります。			指標	Ba 7
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※ 私立学校及び香川高等専門学校の教員は受講対象者ではありません。				

インクルーシブ教育システム構築の理念に基づき、すべての子どもたちに「わかる授業」を行うための集団全体への効果的な一斉指導の工夫(ユニバーサルデザイン)や、支援を要する子どもの学習参加を保障するための個に応じた支援の工夫(合理的配慮)について、講話と演習を通して考えます。

○ 前半(理論編)

「ユニバーサルデザインと合理的配慮」

校種別グループ演習

○ 後半(実践編)

※主に小・中学校での実践を想定

「授業のユニバーサルデザイン」

校種別グループ演習



なお、本講座の受講者には、香川県教育センター所長による「受講証明書」が発行されます。



講座番号	405	講座名	学校の危機管理研究Ⅰ－①	定員	120
期日・会場	8月 2日（水）8：50～16：15 各所属校等 ※ この講座は、オンライン研修（同時双方向型）での開催になります。			指標	Cc
対象者	教職経験年数4年以上の小学校、中学校の教員 ※ 私立学校の教員は受講対象者ではありません。				

学校では、様々な危機的状況が発生しています。危機的な状況を未然に防ぎ、的確に対応することにより、子供たちが安心して学べる環境を確保することができます。

危機対応能力を身に付けることをめざし、学校で生じる危機に対応するために必要な校内体制づくりの視点や考え方について、講話と演習により学びます。

- 学校の危機管理と学校安全の考え方
- 学校の危機管理と生徒指導



本講座は単独受講が可能です。が、「406 学校の危機管理研究Ⅰ－②」と合わせて受講することで、学校における危機管理研究の全体的な考え方を学ぶことができます。

なお、本講座の受講者には、香川県教育センター所長による「受講証明書」が発行されます。

※ さらに研修を深めたい方は、香川大学教職大学院が実施する「学校の危機管理研究Ⅱ」の授業講座を無償で受講することができます。詳しくは、香川大学教職大学院のWebサイトをご覧ください。

講座番号	406	講座名	学校の危機管理研究Ⅰ－②	定員	120
期日・会場	8月 3日（木） 8：50～16：15 各所属校等 ※ この講座は、オンライン研修（同時双方向型）での開催になります。			指標	Cc
対象者	教職経験年数4年以上の小学校、中学校の教員 ※ 私立学校の教員は受講対象者ではありません。				
学校では、様々な危機的状況が発生しています。危機的な状況を未然に防ぎ、的確に対応することにより、子供たちが安心して学べる環境を確保することができます。 危機対応能力を身に付けることをめざし、学校で生じる危機に対応するために必要な校内体制づくりの視点や考え方について、講話と演習により学びます。 ○ 学校の危機管理と教職員のメンタルヘルス ○ 学校の危機管理と保護者・地域住民との協働 ○ 学校の危機管理と学校教育データの利活用  本講座は単独受講が可能ですが、「405 学校の危機管理研究Ⅰ—①」と合わせて受講することで、学校における危機管理研究の全体的な考え方を学ぶことができます。 なお、本講座の受講者には、香川県教育センター所長による「受講証明書」が発行されます。 ※ さらに研修を深めたい方は、香川大学教職大学院が実施する「学校の危機管理研究Ⅱ」の授業講座を無償で受講することができます。詳しくは、香川大学教職大学院のWebサイトをご覧ください。					